



薄い文字をゆっくりなぞりましょう

夜ぞ更けにける

白きを見れば

おく霜の

渡せる橋に

かささぎの

作者： 中納言家持

年代： 平安時代前期

出典：『古今和歌集』・『小倉百人一首』

意味

夜空にかかる天の川の橋に霜が降りたように見えるほど、
夜が深くなったことだ、という歌です。